

白老 瓦斯山(485.3m) 個人山行

2023年2月23日(木)
「東尾根コース」をスノシューでの山行

【参加者】 CL安藤、SL澤田、小山内、津川、笹山、増川の6名

【天候】 予報通り、曇り時々湿雪が降ったりで気温は0~2℃で風も多少で全般穏やかなであった。

【コースタイム】

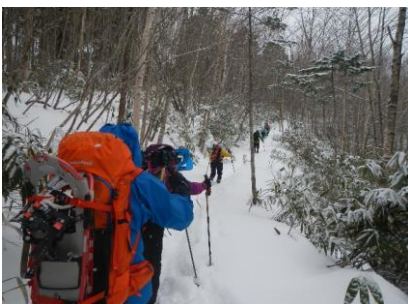
8:00	岡志別の森運動公園を出発	11:40	↓ 305mポコ手前のコルで昼食
9:00	ホロケナシ公園からアプローチ	12:30	↓ 尾根取り付き
9:20	↑ 尾根取り付き(山北沢の滝分岐)	12:50	↓ 山北沢の滝氷瀑
10:10	↑ 305mポコ	13:50	↓ ホロケナシ公園着
11:00	↑ 瓦斯山頂上	14:40	岡志別の森運動公園で解散

今回の山行は、「左股の滝でアイスクライミング」であったが、ハードルが高かったのか参加者2名でシホ(。´・｀。)ーン急遽、9年ぶりとなる同域の瓦斯山での再案内で5名の参加が得られ(*^人)^*ありがとおの少数精鋭の山行。

尾根取り付け傾斜面のS字を登る



305mポコ過ぎ



頂上下400mの急峻面



瓦斯山に頂上です。 "ile-i"



ホロケナシ公園からスノシューを背負って森野橋に向かう。
森野橋から東尾根取り付きまで準備運動を兼ね雪原をツボ足スタート。
足跡がなくP場では先客がいたが氷瀑巡りでカジカ沢の滝へ向かったみたい。

20分程で山北沢の滝と分岐の東尾根取り付き、気温が上がって温度調整いつもの地図読み。尾根は5cm程の新雪で覆われているがトレースはしっかりとありスノシューもいらなそう。出だしから結構な斜面、S字でOさんキックステップ跡を頼りに11歩登る。

305mポコを越すと、ラッセル程でないが先頭を変えながらの歩き左崖下に白老川本流の堤防、右には山北沢の川沿いやちょっとした小氷瀑が直下に見え癒し。

途中で4人組に"お先にどうぞ.."で先頭を譲り、おしゃべり歩行している間に急峻な白い斜面が現れる、頂上直下のロング斜面だ。
こもやはりキックステップで1歩、1歩登るが、結構ツライ(。´Д`)。
先ほどの4人組が下山してトレースが崩れているのでなおさら。
軽アイゼンがあれば...と思った。

頑張って登り切ると平坦な頂上に山頂標識が現れた。
2時間ほどかけて全員が登頂、で讃えあう。
頂上は貸し切りであったが小雪、風もあり、眺望も期待できないので、即即と後にする。

Oさんは、下りは"スノシューだべー"で、使わなきて直下オープンに深雪を蹴散しワン公のごときに、吾らはヒールキックで時に尻滑りズリズリと下る

3、4組の登山者が登ってくる大半ヒップスライダーを背おったり、直下の急峻を尻滑りを楽しむのだろう。思いのほか人気のある山だ。

12時も近くなってきたので、少し下がって風のないエゾ松林の中でソーシャルディスタンスで昼食...もう慣れたものです。

下りはしっかり踏まれ1級国道並みに感謝!!
寄り道して「山北沢の滝」を見、2/5氷壁訓練時と比べると滝直下はかなり溶けているが両側はブルーシャンデリアでまだ見応えあり。でも来週の暖気で崩壊するだろうなー。と思いつつテクテクとP場に到着。

山北沢の滝 周りはブルーシャンデリ

エゾ松林で昼食です。



思いのほか急峻な山でした。
氷瀑巡りもでき、天気がよければ見晴らしの期待で、無理なく登れる瓦斯山は、訪れる人が多いのも分かるかも。

(記 安藤)